GRADE 9
社会

日清戦争と日露戦争

二つの戦争は、東アジアをどう変えたか？



イメージ：近代の軍艦。AIによる時代再現（実際の写真ではありません）

この単元で学ぶこと

19世紀末、日本は朝鮮半島をめぐって清やロシアと対立し、二つの戦争を経験しました。戦争の原因から講和条約、その後の社会の変化まで、つながりを理解しましょう。

最初におさえたい3つの問い

① なぜ朝鮮半島が争点になったのか？
② 戦争の結果、誰にどんな影響があったのか？
③ 二つの講和条約はどう違うのか？

なぜ日清戦争が起きた？

朝鮮半島をめぐる清と日本の対立

朝鮮半島が重要だった理由

19世紀後半、朝鮮は清との伝統的な関係をもちながら、外国勢力の進出に直面しました。日本も朝鮮での影響力を強めようとし、清と対立を深めます。



1894年：戦争が始まる

朝鮮で東学農民運動が起こり、朝鮮政府は清に出兵を求めました。日本も軍を送り、農民軍との和解後も両軍は撤退せず対立が激化。日清戦争が始まりました。

ここが重要

原因は「朝鮮の支配をめぐる対立」。東学農民運動は開戦のきっかけでした。

日清戦争と下関条約

1894〜1895年：講和で得たもの



再現イメージ：19世紀末の軍隊（AI表現・写真ではありません）

戦争は陸と海で展開し、日本が優勢になりました。1895年、下関で日本と清の代表が講和交渉を行い、下関条約を結びました。

下関条約（1895年）の主な内容

1. 清が朝鮮の独立を認める
2. 遼東半島・台湾・澎湖諸島を日本に割譲
3. 清が日本に賠償金を支払う

資料で考えよう

「朝鮮の独立」を認めさせたことは、朝鮮への日本の影響拡大とどのように結びついたのだろう？

三国干渉と次の対立

1895年：ロシア・ドイツ・フランス

勝利しても遼東半島は返還した

日本が下関条約で得た遼東半島について、ロシア・ドイツ・フランスは清へ返すよう要求しました。日本は対立を避けて受け入れます。これが三国干渉です。



再現イメージ：列強の外交関係（AI表現）

下関条約
↓
遼東半島を得る
↓
三国干渉
↓
遼東半島を返す

ロシアとの対立が強まる

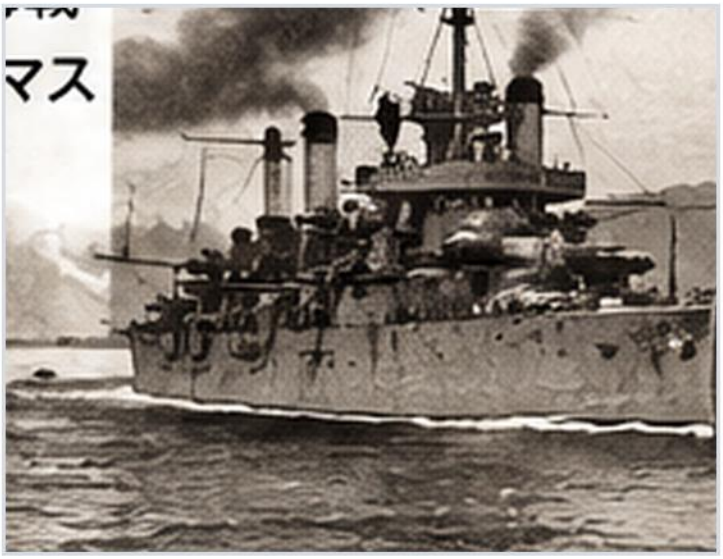
返還を受け入れた日本では、ロシアへの反発が強まりました。その後ロシアが満州や朝鮮で影響力を拡大すると、日本との緊張はいっそう高まりました。

日露戦争はなぜ始まった？

1902年の日英同盟から1904年の開戦へ

朝鮮・満州をめぐる対立

ロシアは中国東北部の満州に軍を進め、朝鮮半島でも影響力を拡大しようとしました。日本はロシアとの交渉がまとまらず、1904年に戦争へ進みます。



再現イメージ：当時の軍艦（AI表現）

1902年　日英同盟

1904年　日露戦争 開戦

1905年　奉天会戦
日本海海戦

勝利の裏側にあった負担

日本軍は日本海海戦などで勝利しました。しかし戦争は多くの犠牲と巨額の費用を伴い、日本だけでなくロシアや戦場となった地域の人々にも大きな影響を与えました。

ポーツマス条約と社会

1905年：日本は何を得て何を得なかった？



再現イメージ：19世紀末の東アジア外交（AI生成・史料写真ではありません）

ポーツマス条約の主な内容

1. ロシアが韓国における日本の優越的地位を認める
2. 旅順・大連の租借権や南満州鉄道の一部権益を日本に移す
3. 南樺太を日本に譲る／賠償金は支払われない

日比谷焼打ち事件（1905年）

賠償金が得られないことへの不満などから東京で抗議活動が激化し、暴動に発展しました。

二つの戦争を比べよう

原因 → 戦争 → 条約 → 影響

日清戦争と日露戦争の比較

項目	日清戦争	日露戦争
時期	1894〜95年	1904〜05年
対戦国	清	ロシア
主な争点	朝鮮をめぐる対立	満州・朝鮮の勢力争い
講和条約	下関条約	ポーツマス条約
結果の特徴	台湾などの割譲・賠償金	南樺太など・賠償金なし

共通点だけでなく違いを説明しよう

二つの戦争とも東アジアの勢力争いから起きましたが、相手国・条約内容・賠償金の有無などに違いがあります。

物語で総まとめ

日清戦争から日露戦争までを一続きで説明

総まとめ｜流れをつかもう

19世紀後半、東アジアでは各国の勢力争いが激しくなりました。日本は朝鮮をめぐって清と対立し、1894年に日清戦争が始まります。日本が優勢となり、翌1895年に下関条約を結びました。清は朝鮮の独立を認め、台湾などを日本に譲り、賠償金を支払うことになりました。

しかし、日本の遼東半島領有にはロシア・ドイツ・フランスが反対しました。日本は三国干渉を受けて遼東半島を返還します。その後、ロシアが満州や朝鮮で勢力を広げ、日本との対立が深まりました。

日本は1902年に日英同盟を結び、1904年に日露戦争が始まりました。戦争は多くの犠牲と負担を生みながら1905年の講和へ進み、ポーツマス条約が結ばれました。日本は南樺太などを得ますが、賠償金は得られませんでした。国内では不満が高まり、日比谷焼打ち事件が起こりました。

二つの戦争を通して、日本の国際的な地位は変わりました。しかし、朝鮮への支配強化や戦争による犠牲など、周辺地域と人々に大きな影響を与えたことも忘れてはいけません。

自分の言葉で書こう

① 三国干渉が日露戦争につながった理由を説明する。
② 下関条約とポーツマス条約の違いを説明する。